

幼保と小学校の学びをつなぐ

日時：平成29年8月9日(水) 場所：福祉人材研修センター

【ねらい】 講義及び小学校教諭の保育園における長期社会体験研修の実践発表を通して、幼児教育と小学校教育との学びの連続性を意識した接続についての理解を図る。

【実践発表】「育ちと学びをつなぐ ～ちからの源、賀露のみ・そ・あ・じ～」

発表者 鳥取市立賀露保育園 副園長 松田 真奈美 氏
鳥取市立賀露小学校 教諭 星見 志暢 氏

星見教諭

一人一人が安心感をもち、新しい人間関係を築くことをめざし、**幼児期の学びを生かしたスタートカリキュラムを編成・実践。**



松田副園長

星見教諭と話し合い、「**育ちをつなぐ、めざす子どもの姿**」を作成。また、研修生の受け入れをきっかけに、賀露地区の連携体制を整えることができた。(保育園・小学校・公民館との話し合いの会、小学校教諭の保育体験など)



平成29年度 育ちをつなぐ めざす子どもの姿	
保育園	小学校
<p>＜健康＞ ○食事の準備・調理・配膳・片付け、時間内に食事を食べ終える。</p> <p>＜運動＞ ○友達と積極的に体を動かす運動に取り組む。思い合ったゲームをやってみんなで遊んだり、自分なりのめざす行動を持って多様な運動遊びを楽しむ。</p> <p>＜安全＞ ○危険な遊びや場所を気づき、自分で判断して安全に行動しようとする。</p> <p>＜生活習慣＞ ○基本的な生活習慣（早寝・早起き・歯ごはなど）を身につけたり、身の周りの整理や片付けが出来るようになる。</p> <p>＜社会性＞ ○仲間や先生と関わりあふ喜びを感じ、様々な状況に応じた行動をとる。○思いやりや正しい言葉遣いを通して楽しむ。</p> <p>＜自己表現＞ ○友達と十分に語りあふ喜びを感じ、自分の気持ちを伝えたり、友達との関係を築いたりしながら自分の力を発揮する。</p> <p>○友達や先生と関わりあふ喜びを感じたりして、伝えようとする。</p> <p>＜読書性＞ ○自分の好きなことや興味のあることを読みながら楽しむ。○本の読み聞かせや絵本の読み聞かせを通して、言葉や表現の豊かさを味わう。</p> <p>○読み聞かせや絵本の読み聞かせを通して、言葉や表現の豊かさを味わう。</p> <p>＜生活力＞ ○身の周りの整理や片付けが出来るようになる。</p> <p>○身の周りの整理や片付けが出来るようになる。</p>	<p>＜健康＞ ○自分の健康を管理し、安全と安心して活動や学習ができる。</p> <p>○自分の健康を管理し、安全と安心して活動や学習ができる。</p> <p>＜運動＞ ○友達や先生と一緒に、思い合ったゲームや多様な運動遊びを楽しむ。</p> <p>○友達や先生と一緒に、思い合ったゲームや多様な運動遊びを楽しむ。</p> <p>＜安全＞ ○危険な遊びや場所を気づき、自分で判断して安全に行動しようとする。</p> <p>○危険な遊びや場所を気づき、自分で判断して安全に行動しようとする。</p> <p>＜生活習慣＞ ○基本的な生活習慣（早寝・早起き・歯ごはなど）を身につけたり、身の周りの整理や片付けが出来るようになる。</p> <p>○基本的な生活習慣（早寝・早起き・歯ごはなど）を身につけたり、身の周りの整理や片付けが出来るようになる。</p> <p>＜社会性＞ ○仲間や先生と関わりあふ喜びを感じ、様々な状況に応じた行動をとる。○思いやりや正しい言葉遣いを通して楽しむ。</p> <p>○仲間や先生と関わりあふ喜びを感じ、様々な状況に応じた行動をとる。○思いやりや正しい言葉遣いを通して楽しむ。</p> <p>＜自己表現＞ ○自分の好きなことや興味のあることを読みながら楽しむ。○本の読み聞かせや絵本の読み聞かせを通して、言葉や表現の豊かさを味わう。</p> <p>○自分の好きなことや興味のあることを読みながら楽しむ。○本の読み聞かせや絵本の読み聞かせを通して、言葉や表現の豊かさを味わう。</p> <p>＜生活力＞ ○身の周りの整理や片付けが出来るようになる。</p> <p>○身の周りの整理や片付けが出来るようになる。</p>

生活科「ともだちたくさんつこう」



2年生と学校探検

時間	第6日 区別発表会	第7日 区別発表会	第8日 区別発表会
9:00~	生 教室のみんなどな	生 教室のみんなどな	生 教室のみんなどな
9:25	生 教室のみんなどな	生 教室のみんなどな	生 教室のみんなどな
9:30~	生 学校のいろいろなところをめぐろう	生 学校のいろいろなところをめぐろう	生 学校のいろいろなところをめぐろう
10:15	生 トランプゲーム	生 じゃんけん	生 じゃんけん
10:45~	生 じゃんけん	生 じゃんけん	生 じゃんけん
11:25	生 じゃんけん	生 じゃんけん	生 じゃんけん
11:30~	生 じゃんけん	生 じゃんけん	生 じゃんけん
12:15	生 じゃんけん	生 じゃんけん	生 じゃんけん
2:00~	区別発表会	区別発表会	区別発表会
2:45	区別発表会	区別発表会	区別発表会

【講義・演習】「幼保と小学校の学びをつなぐ」

岐阜聖徳学園大学 教育学部 教授 西川 正晃 氏

①幼稚園教育要領等の改訂(定)から見えてくる幼保小連携のポイント「学びに向かう力」を育てる活動の充実

「主体的な学び」

「深い学び」

「対話的な学び」

子どもがおもしろいと感じたり関わったりしたくなる素材をふんだんに用意すること。すなわち、**環境を豊かに**する。

保育者が**対話**を通して、子どもの発想を豊かにしたり、考えを深めたりすること。

改訂(定)で示された「幼児教育において育みたい資質・能力」の、特に「**学びに向かう力・人間性**」を小学校へつないでいくことが求められる。そのためには、**豊かな環境や対話の中で主体的に遊ぶこと**を通して、意欲・興味・関心をもち、粘り強く、仲間と協調して取り組む力や姿勢を育成していくことが求められる。また、これらの力や姿勢は年長児だけで育つものではなく、**乳幼児期から育てていくことが大切**である。

②新幼稚園教育要領等がめざす幼保小の連携とは

- 互恵性** 交流活動が連携の目的ではない。交流活動の意義の見直しと、**ねらいの明確化**を幼保小双方が図る。
- 日常性** 接続期だけでなく、すべての年齢・学年の「**今**」の育ちを大切に。また、連携の取組が双方の**生活の中に根付いた取組**になっているかが大切。
- 必要性** 幼児期から小学校のスパンで育てたい子どもの力を見極め、**子どもたちの成長に必要な取組**を行う。
- 連続性** 双方がお互いの学びの本質を理解・共有し、乳幼児期からの学びを小学校以降で発揮できる**接続期のカリキュラムの編成とその基盤となる「学びに向かう力」の涵養**を行う。

【参加者の感想】

- ◇ 幼保小連携というイメージだが、0歳から小学6年生までの12年間、接続を意識して保育を行うことが大切なのだと実感した。
- ◇ 小学校への準備として今を過ごすのではなく、「今」を大切に、思ったことが伝え合えるような対話の力や考える力を乳幼児期から育てたいと感じた。
- ◇ 園と小学校がお互いに、ねらいやめざす子どもの姿を明確にもちながら連携を進めていくことが大事だと感じた。どのような姿をめざして保育をしているかを小学校に知らせ、小学校の先生とどのような力を身につけていくべきかを話し合い、共通の意識をもって連携していきたい。

幼保小で**めざす姿を共有し、学びに向かう力**を長いスパンで育てていきましょう。

